

「自分が納得して 先に進みたい 後悔はしない」

まちを支えるあなたのチカラ

しばじえね

SHIBAYAMA
GENERATION #9



農業男子
鈴木 敏弘 さん
(上吹入)

大学を卒業した後、実家の花き農家を手伝い始めた鈴木さん。花には人を和ませる魅力がある。生産は時期や景気の影響を受けやすく、経営は簡単ではないが、その分やりがいも大きいという。

農業のほかに力を入れているのが、小さい頃からずっと続けてきた剣道だ。今では剣道教室で子どもたちに指導している。一人一人の得手不得手を見抜き、それに合った指導をするのは難しくもあり、また面白くもある。「子どもも大人も、新しい仲間を増やしていきたいですね」と、これからの目標を語った。

剣道や青年クラブをはじめ、消防団や地区の付き合いなど、地元で暮らしながら人付き合いの輪が少しずつ広がってきた。大変なこともあるが、いろいろな人との触れ合いは、「社会」を学ぶ場となっている。

生まれ育った家を守りながら、これからも地域の一員として生きていく。ずっと住む町だから、人とのつながりを大切にしたいと思う心は、町を支える大きなチカラ。

すずき・としひろ
◎Profile
■年齢/26歳 ■職業/農業(リユースコリーネ、カラー、ヒマワリなど) ■趣味/音楽鑑賞 ■特技/剣道 ■好きな言葉「守破離」、「勇往邁進」

あとがき

◆夜空に響くカウントダウン花火とともに、今年の取材活動もスタート。今年も天候にも恵まれ、きれいな初日の出を見られた方も多かったのではないのでしょうか。晴れやかに幕を開けた平成26年。今年は何かがいいことがありそうな気分になります。◆成人式ではキラキラ輝く新成人が眩しく見えました。また、それぞれの道を歩んできた同級生が再会を喜び合う姿を見てみると、なんだかこちらまでうれしくなりました。ステキな大人になつてください！◆年々寒くなっているように感じるのは気のせいなのか、年のせいなのか…。寒いのは苦手なので、春が待ち遠しいです。皆様も流行のウィルスにはご注意ください。(一)

◆芝山文化センターで行われた成人式では、「20歳の自分に宛てた手紙」を読み返すという一幕がありました。それぞれの手紙を読み返す新成人たち。こぼれる笑みからは、懐かしく照れくさそうな様子が伺えました。◆過去に書いた手紙は、自分の筆跡や、当時の思い出がぎゅぎゅと詰まったタイムカプセルです。現代版の電子メールも良いけれど、鉛筆で書いた一文字一文字はとも温かみがありますよね。◆人生のビッグイベントといえば、入学試験もその一つ。鉛筆で答えを記入した答案用紙が、いつか合格という通知にかわって未来の自分に届くように受験生の皆様のご健闘をお祈りしています。◆健康第一ーまだまだ寒い日が続きますが、どうぞお身体にお気をつけください。(一)